



平成 30 年 1 月 30 日  
リサイクル燃料貯蔵株式会社

### リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画届出について

当社は、本日、『核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律』第43条の13及び『使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則』第23条第1項の規定に基づき、使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画を、原子力規制委員会へ届け出ましたのでお知らせします。

#### 記

○ 使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画

使用開始の予定の日の属する年度（平成 30 年度）から、当該年度の 4 月 1 日を始期とする 3 年間（平成 32 年度まで）の貯蔵計画

※今回の届出は、当施設の事業変更許可申請（平成 28 年 9 月 16 日一部補正申請）の内容（平成 30 年後半 事業開始）に基づくもの。

以 上

別紙：貯蔵計画

問い合わせ先  
リサイクル燃料貯蔵株式会社  
立地・広報グループ  
安藤・甲田  
TEL 0175-25-2992

貯 蔵 計 画

原子力規制委員会 殿

平成30年1月30日

住所 青森県むつ市大字関根字水川目596番地1  
氏名 リサイクル燃料貯蔵株式会社 代表取締役社長 坂本 隆

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の13及び使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則第23条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

事業所		名 称	リサイクル燃料備蓄センター						最大貯蔵能力 (トン)			約3000					
		所 在 地	青森県むつ市														
年度別	期別	燃料体の種類 (注)	使用済燃料受入量				使用済燃料払出量				期 末 在 庫 量						
			封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)
*平成30年度	上 期	BWR	1	69	12	1	0	0	0	0	0	0	1	69	12	1	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下 期	BWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	69	12	1	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	BWR	1	69	12	1	0	0	0	0	0	0					
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平成31年度	上 期	BWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	69	12	1	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下 期	BWR	5	345	60	1	0	0	0	0	0	0	6	414	73	2	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	BWR	5	345	60	1	0	0	0	0	0	0					
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平成32年度	上 期	BWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	414	73	2	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下 期	BWR	8	552	97	2	0	0	0	0	0	0	14	966	169	4	0
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	BWR	8	552	97	2	0	0	0	0	0	0					
		PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
合 計	BWR	14	966	169	4	0	0	0	0	0	0						
	PWR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

注 燃料体の種類別に記載すること。  
備考1 ウラン、ウラン235又はプルトニウムの量は、原子核分裂させる前のものを記載すること。  
2 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

BWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。  
PWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。  
ウランの量、ウラン235の量、プルトニウムの量が1トン未満の場合は1(トン)と記載する。  
各欄毎に端数処理(四捨五入)を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。

\* 使用済燃料貯蔵施設による使用済燃料貯蔵事業開始の予定時期：平成30年後半